

PCI BUS SCSI INTERFACE BOARD

LHA-600Sシリーズ ユーザーズマニュアル

PCIバス対応SCSIインターフェースボード

DOS/Vパソコン

PC-9800シリーズ

PC98-NXシリーズ

Macintoshシリーズ

Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
ロジックソフトウェア使用権許諾契約書	2
付属品の確認	4
ごあいさつ	5
ご注意	5
第1章 製品のご紹介	6
1.1 製品の概要	6
1.2 各部の名称と機能	9
第2章 接続について	11
2.1 本製品と内蔵 SCSI 機器の接続	11
2.2 外付 SCSI 機器の接続	13
2.3 システム起動時に表示されるメッセージ	15
第3章 ドライバのインストール	16
3.1 Windows XP の場合	16
3.2 Windows Me の場合	18
3.3 Windows 98 の場合	20
3.4 Windows 95 の場合	23
3.5 Windows 2000 の場合	29
3.6 Windows NT 4.0 の場合	33
3.7 Mac OS の場合	36
第4章 補足事項	37
4.1 SCSI 機器別の作業 (Windows 環境)	37
4.1.1 ハードディスクユニット	37
4.1.2 MO ユニット	38
4.1.3 CD-R/RW ユニット	39
4.1.4 CD-ROM / DVD-ROM ユニット	39
4.1.5 その他の SCSI 機器	39
4.2 トラブル・シューティング	40
4.3 オプション品について	42
4.4 セットアップユーティリティ	44
ハードウェア仕様	51

取扱い上のご注意

警告

接続時は、電源コードを抜いてください。
本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。また、SCSI機器を接続するときも、同様にすべての機器の電源をOFFにしてください。



注意

ケガなどに注意してください。
本製品の裏側などに不注意に触れると、ケガをすることがありますので注意してください。



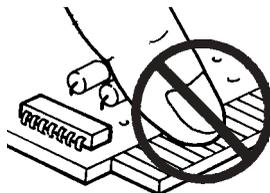
ケガに注意

静電気対策をしてください。
本製品には、静電気に弱い部品があります。接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、体内の静電気を放電してから作業を行なってください。また、本製品の不要な部分にはなるべく触れないでください。



静電気対策

金メッキ部分には触れないでください。
本製品の金メッキ部分はパソコン本体と直接接続されます。接触不良を防止するため、直接手で触れないでください。



ご使用の前に必ずお読みください。

ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

1. 使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2. 著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的のみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3. 規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4. 保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行ないます。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限ります。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限ります。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5. 免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行ないません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業的支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6. その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

付属品の確認

	LHA-600S	LHA-600S/A	LHA-600S/B
SCSI・C・・・[・t・F・[・X・{・[・h	・P・・		
Low Profile PCI・p・・・	・P・ツ		
LHA-600S・V・・・[・Y ・・・[・U・[・Y・j・・・A・・・	・{・・		
・□・リ・・・[・U・[・o・[・J・[・h	・P・・		
・uLogitecWare・vCD-ROM	・P・・		
・・・SCSI・P・[・u・・・	・ネ・オ		・P・{
・O・・・SCSI・P・[・u・・・	・ネ・オ	・P・{	・ネ・オ
・A・N・e・B・u・・・[・[・I・[・[・	・ネ・オ	1 個	

上記は本製品単体販売の場合の付属品です。SCSI機器とのセット販売の場合は、SCSI機器のユーザーズマニュアル等をご参照ください。

* MS[®]、MS[®]-DOS、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第1章

製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は PCI バスに接続する SCSI インターフェースボードです。マルチプラットフォームに対応しているため、DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ、PC-9800 シリーズ、Macintosh シリーズなど様々なパソコンで使用することができます。

本製品の特徴

Ultra SCSI に対応して、最大同期転送速度 20MB/s (理論値) をサポートしています。データ転送方式はバスマスタ転送を採用しています。

PCI バスのプラグ & プレイ機能に対応していますので、I/O ポートや割り込みなど本製品が使用するシステムリソースは自動設定されます。

SCSI コントローラに FIFO バッファを搭載することによって、SCSI-PCI 転送を高速化しました。

SCSI バス信号のノイズ等による誤動作を防止するハザードキラー回路を搭載しています。より信頼性の高い動作が可能です。



ご注意

本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM の「¥DRIVERS ¥LHA600」フォルダには、補足説明ファイル「README.TXT」が保存されています。本書作成後の最新情報等が記載されていますので、必ずご参照ください。

対応するパソコン本体について

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべて PCIバス (Rev 2.1 以降) の拡張スロットを搭載した機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ PC-9800 シリーズ (PC-9821Xa 初期型、Xf を除く)
アップルコンピュータ社	Power Macintosh G3 シリーズ (Blue and White シリーズを含む) Power Mac G4 シリーズ



ご注意

- ・発売されているすべての機種で動作確認を行うのは不可能です。一部に対応できない機種が存在する可能性があることは、あらかじめご承知おきください。
 - ・PC-9800 シリーズでは本製品に接続した SCSI 機器からのシステム起動はできません。
-

対応 OS について

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition 含む)

Windows 95

Windows 2000 Professional

Windows NT 4.0

アップルコンピュータ社

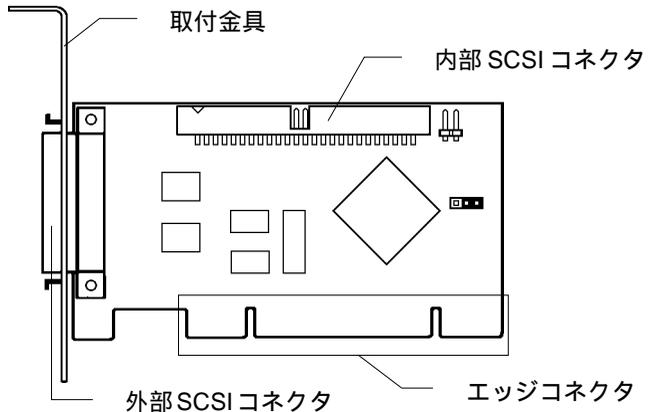
Mac OS 8.1 ~ 9.2.2



ご注意

- ・ Windows Me の場合、OS の仕様により、SCSI ボードが接続されている環境では「休止状態」の機能は使用できません。（「休止状態」はハイバネーションとも呼ばれ、メモリの内容をハードディスクに保存してパワーオフ状態に入る機能です。）
-

1.2 各部の名称と機能



取付金具

パソコン本体内部で、PCI 拡張スロットに本製品を固定するための部品です。出荷時には標準 PCI 用取付金具が取り付けられています。

Low Profile PCI 用取付金具に交換したい場合は、外部 SCSI コネクタ上下のネジを取り外してください。

内部 SCSI コネクタ

内部 SCSI ケーブルで内蔵 SCSI 機器と接続します。

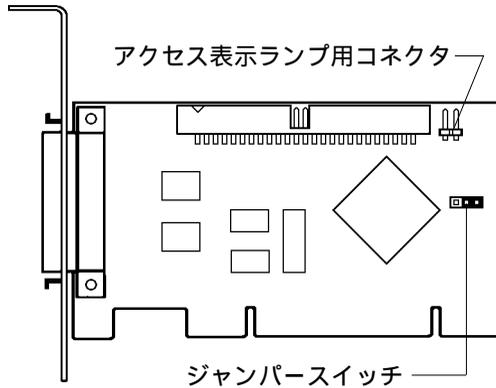
外部 SCSI コネクタ

外部 SCSI ケーブルで外付 SCSI 機器と接続します。コネクタ形状は、D-sub ハーフピッチ 50 ピンです。

エッジコネクタ

パソコン本体の PCI バス拡張スロットに接続する部分です。接触不良などを防止するため、この部分には直接手を触れないでください。

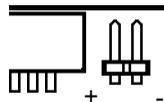
1.2 各部の名称と機能



アクセス表示ランプ用コネクタ

ご使用のパソコン本体にアクセス表示ランプがある場合は、そのケーブルをこのコネクタに接続すると、SCSI機器のアクセスにしたがってランプを点滅させることができます。

接続の際には+、-の極性にご注意ください。逆に差しても機器を損傷することはありませんが、ランプが点灯しません。



ジャンパースイッチ

本製品に搭載されたBIOSを有効/無効に設定します。通常の場合は「有効(出荷時設定)のままご使用ください。

<p>3 2 1</p>	<p>BIOS有効 (出荷時設定)</p>
<p>3 2 1</p>	<p>BIOS無効</p>

第2章 接続について

2.1 本製品と内蔵 SCSI 機器の接続

本製品は PCI バス (Rev2.1 以降) に準拠した拡張スロットに接続します。接続は以下の手順で行ないます。(Low Profile PCI 対応の拡張スロットに接続する場合は、あらかじめ本製品の取付金具を Low Profile PCI 用のものと交換しておいてください。)

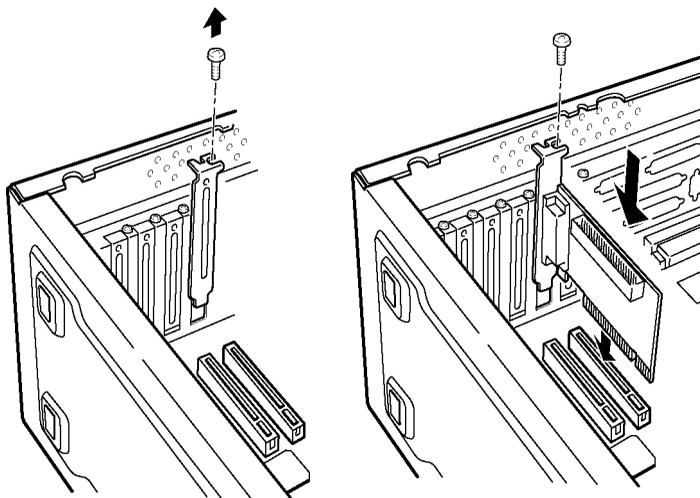


必ずパソコン本体の電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜いてください。

パソコン本体の取扱説明書などを参照して、パソコン本体の上部カバーを取り外します。

SCSI インターフェイスボードを接続する PCI バスの拡張スロットを選択し、スロットカバーを取り外します。(下左図参照)

SCSI インターフェイスボードを PCI バスの拡張スロットに挿入します。なるべく垂直に挿入して、完全にセットされたことを確認したら、ネジで固定してください。(下右図参照)



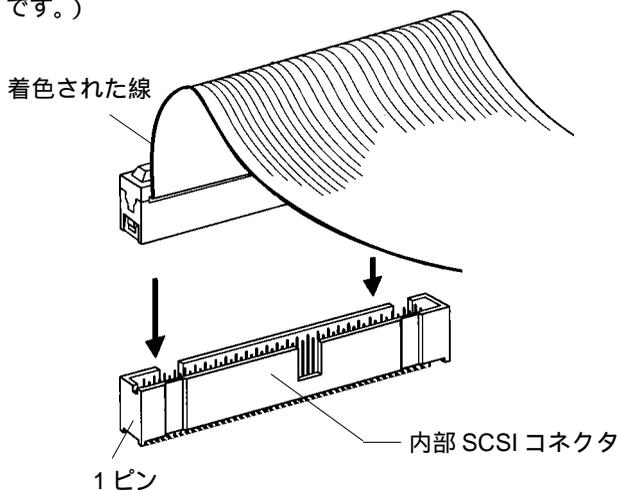


ご注意

続いて内蔵 SCSI 機器を接続しますが、内蔵 SCSI 機器はあらかじめ以下のように設定しておいてください。

- ・ ID ナンバーを重複しないように設定します。
- ・ 終端に接続する機器はターミネータ(終端抵抗)を有効にします。その他の機器はターミネータを無効にします。(SCSI インターフェイスボード上のターミネータは、内蔵/外付けの両方に SCSI 機器を接続すると自動的に無効になります。)

内蔵 SCSI 機器を使用する場合には、内部 SCSI ケーブルで SCSI インターフェイスボードの内部 SCSI コネクタと内蔵 SCSI 機器を接続してください。内部 SCSI コネクタは逆差し防止加工されていますので、正しい方向でしか接続できません。(一般にケーブルの着色された線がコネクタの 1 ピンにあうのが正しい方向です。)

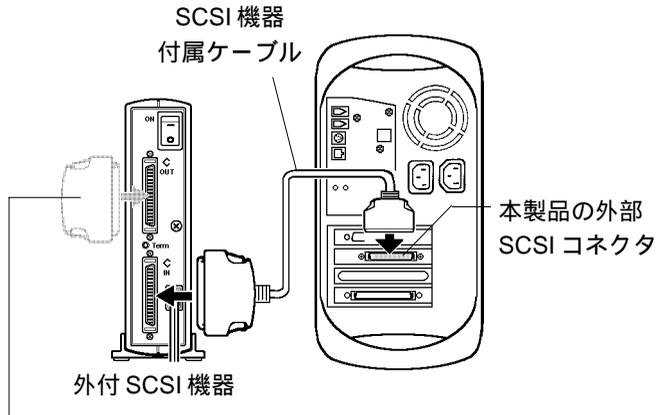


内蔵 SCSI 機器に電源ケーブルを接続します。

接続が終了したら、パソコン本体の上部カバーを元に戻します。このとき、フラットケーブルなどを挟み込まないようにご注意ください。

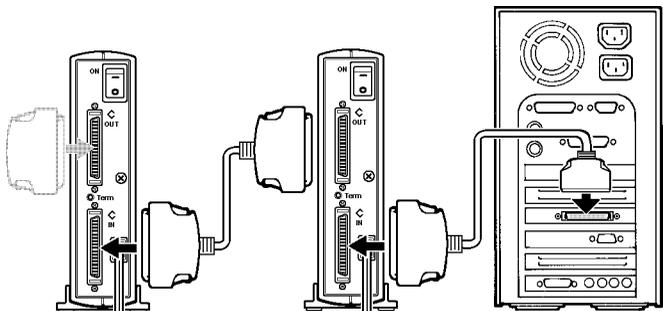
2.2 外付 SCSI 機器の接続

外付 SCSI 機器は下図のように接続します。



ターミネータを内蔵していない SCSI 機器の場合は、ここにターミネータを接続します。

複数の外付 SCSI 機器を接続する場合は、下図のように数珠つなぎに接続します。



Point

チェックポイント

複数の SCSI 機器を接続する場合、ID ナンバーは重複しないように設定してください。

接続の終端となる SCSI 機器にはターミネータが必要です。ターミネータを内蔵している機器の場合は、ディップスイッチなどでターミネータを有効に設定してください。

ターミネータを内蔵していない機器の場合は、外付ターミネータを終端となる機器に接続してください。

SCSI コネクタに「IN」と「OUT」の区別がある機器（オートターミネーション機能を持つ機器）の場合は、必ず「IN」を SCSI インターフェースに近い方へ、「OUT」を終端に近い方へ接続してください。

「IN」、「OUT」の区別がない機器ではどちらの SCSI コネクタを使用してもかまいません。

ケーブル長の合計は、内部ケーブルも含んだすべての合計が3m以内に制限されます。（ただし、これに限らず短ければ短いほど動作は安定します。）

SCSI 機器の接続台数は、UltraSCSI の転送速度（20MB/s）を使用する場合、3台以下でなければなりません。4台以上接続すると、SCSI バスの安定性を優先させるために、転送速度が FastSCSI（10MB/s）に設定されます。（出荷時設定の場合。詳細については、第4章の「4.4 セットアップユーティリティ」参照。）

2.3 システム起動時に表示されるメッセージ

本製品を DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズに接続した状態でパソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動すると、システム起動時、本製品に搭載された SCSI BIOS が以下のようなメッセージを表示します。(このメッセージは PC-9800 シリーズや Macintosh シリーズでは表示されません。)

```
Logitech LHA-600 SCSI BIOS Ver x.xx, Rel x.xx
Copyright (C) Logitech Corp. 1999

HOST SCSI ID : 7
I/O Port : xxxhx
Interrupt (IRQ): x

Press < F10 > ... to enter setup
```

このメッセージが表示されるかどうかをチェックすることによって、本製品が正常に動作しているかどうかを診断することができます。



参考

- ・上記のメッセージが数秒間表示された後で、接続されている SCSI 機器のリストが表示されます。ただし、このリストは一瞬で消去されてしまうため、通常は確認できません。
 - ・パソコンによっては、システム起動時にメーカー専用画面を表示するものがあり、この画面によって上記のメッセージが隠されてしまう場合があります。このようなパソコンでシステム起動時のメッセージを確認したい場合は、パソコン本体の取扱説明書を参照して、メーカー専用画面を非表示にする操作を行ってください。
-

第3章

ドライバのインストール

3.1 Windows® XP の場合

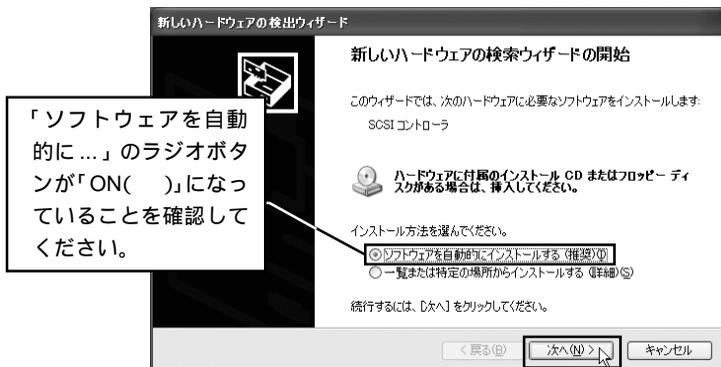
Windows XPをご使用の場合、以下の手順で付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続した状態で、Windows XPのシステムを起動し、コンピュータの管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）としてログオンしてください。

2

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの検出ウィザードが起動し、右下のウィンドウが表示されます。



本製品付属の「Logitech Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にドライバに検索が開始されます。

Point

ポイント

しばらくしてもドライバの検索が開始されない場合は「次へ」をクリックしてください。

3

下のウィンドウが表示されますので「続行」をクリックしてください。

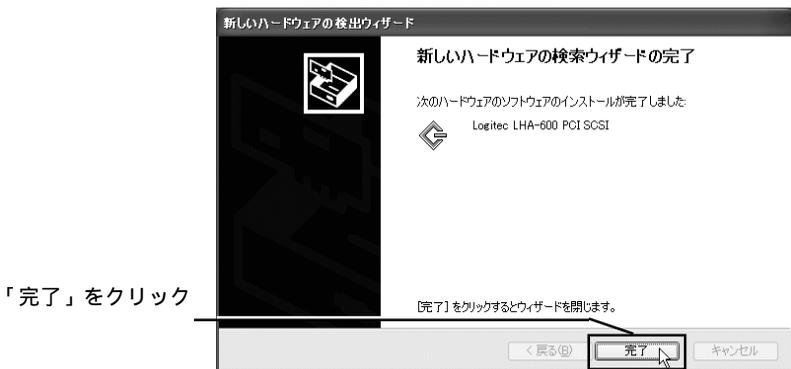


参考

本製品用のドライバは出荷時期の問題から「Windows ログ テスト」を実施しておりませんが、弊社では本ドライバが Windows XP 上で動作することを十分に確認して提供しております。そのままインストールしてご使用ください。

4

下のウィンドウが表示されますので「完了」をクリックしてください。



以上でインストールは終了です。CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出しておいてください。

この後、第4章にお進みください。

3 . 2 Windows® Me の場合

Windows Meをご使用の場合、以下の手順で付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続した状態で、Windows Me のシステムを起動してください。

2

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの検索ウィザードが起動します。右下のウィンドウが表示されたら、付属の「Logitec Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

1. CD-ROM がセットできたら

2. 「適切なドライバ...」が選択されている状態で

3. 「次へ」をクリック



3

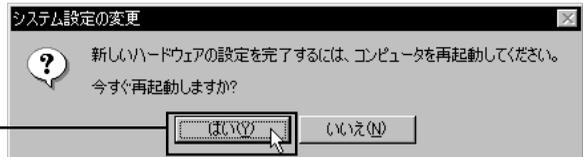
ドライバが自動的に検索され、インストールされます。作業が終了すると、右下のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

4

システムを再起動するウィンドウが表示されます。CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出して、「はい」ボタンをクリックし、システムを再起動してください。



「はい」をクリック

5

システムが再起動したら、インストールは終了です。第4章に進んでください。

3.3 Windows® 98 の場合

Windows 98をご使用の場合は、以下の手順で付属ドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続した状態で Windows 98 のシステムを起動してください。

2

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



3

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



4

右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに「LogitecWare」CD-ROM をセットして、テキストボックスに「Q:¥DRIVERS¥LHA600¥WIN9X」と入力してください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして
2. ここに入力して
3. 「次へ」をクリック



Point ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

5

- 「次へ」をクリック



6

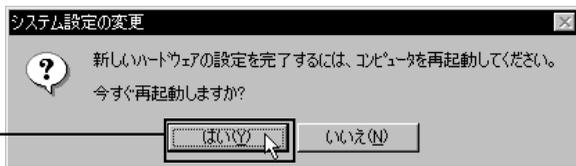
必要なファイルがシステムに転送されます。転送が完了すると、右下のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

7

システムを再起動するウィンドウが表示されます。CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出して、「はい」ボタンをクリックし、システムを再起動してください。



「はい」をクリック

8

システムが再起動したら、インストールは終了です。第4章に進んでください。

3.4 Windows® 95 の場合

Windows 95 のバージョンについて

Windows 95 には内部バージョンがあり、これによってドライバのインストール方法が2種類に別れます。

- ・システムバージョンが「4.00.950」または「4.00.950a」と表示されるものを、本書では「初期 / aバージョン」と呼びます。
- ・システムバージョンが「4.00.950B」または「4.00.950C」と表示されるものは Windows 95 のプレインストールモデルで見られるもの (OSR2.0 / OSR2.1 / OSR2.5) です。本書では「B / Cバージョン」と呼びます。

システムバージョン



本製品を接続して、Windows 95 のシステムを起動すると、すぐにドライバのインストールが開始されてしまうため、上記のようにバージョンを確認することはできません。しかし、2つのバージョンでは手順が異なるため、最初に表示されるウィンドウによって簡単に判別することができます。

以下の手順は、最初に表示されるウィンドウを見て、該当する方をお読みください。

初期 / aバージョンの場合

Windows 95 の初期 / aバージョンをご使用の場合は、以下の手順で付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続した状態で、Windows 95 のシステムを起動してください。

2

本製品がプラグ&プレイで認識され、右下のウィンドウが表示されます。

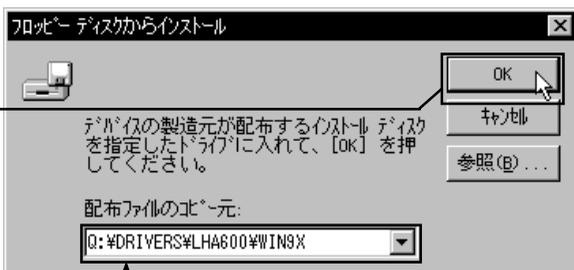


1. 「ハードウェアの製造元・・・」が選択されている状態で

2. OK をクリック

3

右下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitechWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、テキストボックスに「Q:\\$DRIVERS¥LHA600¥WIN9X」と入力してください。



入力できたら OK をクリック

ここに入力

Point ポイント

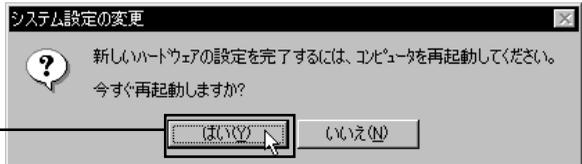
ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

4

ドライバがシステムにインストールされます。作業が終了すると、システムを再起動するウィンドウが表示されます。

CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出して、「はい」ボタンをクリックし、システムを再起動してください。

「はい」をクリック

**5**

システムが再起動したら、インストールは終了です。第4章に進んでください。

B / Cバージョンの場合

Windows 95 の B / Cバージョンをご使用の場合は、以下の手順で付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続した状態で、Windows 95 のシステムを起動してください。

2

本製品がプラグ&プレイで認識されて、デバイスドライバウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

3

右下のウィンドウが表示されます。ここでは絶対に「完了」をクリックしないでください。



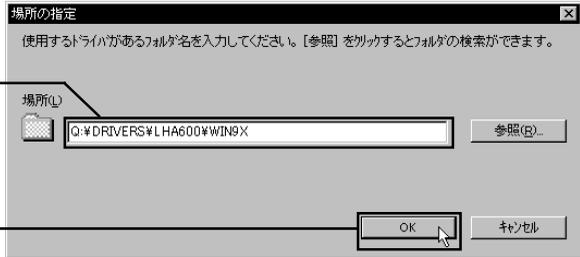
「場所の指定」をクリック

4

右下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、テキストボックスに「Q:¥DRIVERS¥LHA600¥WIN9X」と入力してください。

1. ここに入力して

2. OK をクリック

**Point** ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

5

「完了」をクリック



6

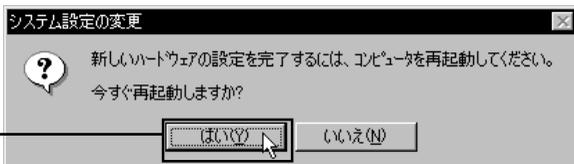
ここで「ディスクの挿入」を要求された場合には、「OK」ボタンをクリックしてください。「ファイルのコピー」のウィンドウが表示されますので、「ファイルのコピー元」にステップ4と同じ内容(Q:¥DRIVERS¥LHA600¥WIN9X)を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

7

ドライバがシステムにインストールされます。作業が終了すると、システムを再起動するウィンドウが表示されます。

CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出して、「はい」ボタンをクリックし、システムを再起動してください。

「はい」をクリック



8

システムが再起動したら、インストールは終了です。第4章に進んでください。

3.5 Windows® 2000 の場合

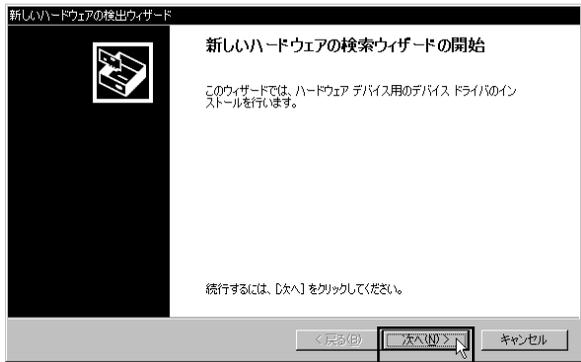
Windows 2000 をご使用の場合、以下の手順で付属のドライバをインストールしてください。

1

本製品を接続した状態で Windows 2000 のシステムを起動して、管理者権限を持つグループ（例えば Administrators グループ）のメンバーとしてログインしてください。

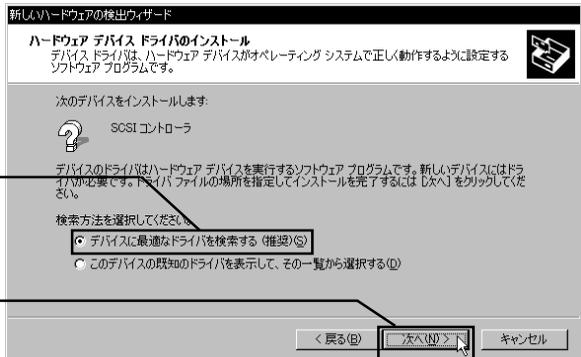
2

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの検索ウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

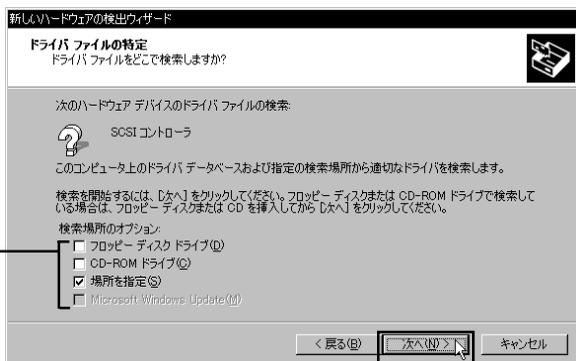
3



1. 「デバイスに最適な・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック

4

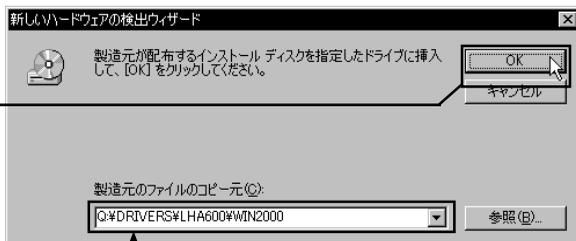


1. 「場所を指定」だけを
チェックした状態で

2. 「次へ」をクリック

5

右下のウィンドウが表示されたら、付属の「LogitechWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、テキストボックスに「Q:¥DRIVERS¥LHA600¥WIN2000 ¥WIN2000」と入力してください。



入力できたら OK を
クリック

ここに入力

Point ポイント

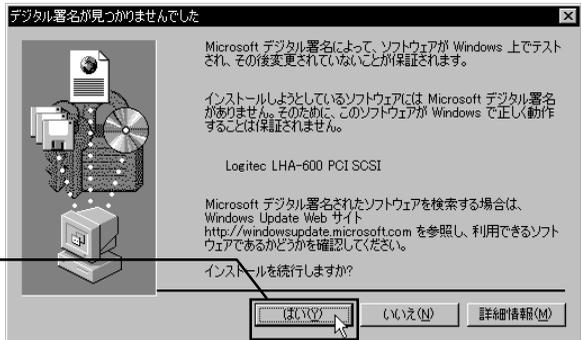
ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

6



「次へ」をクリック

7



「はい」をクリック



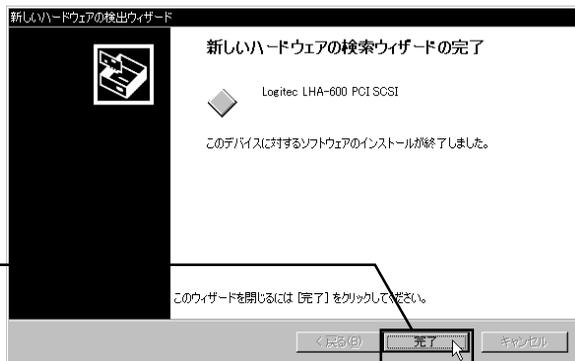
参考

本製品用のドライバは「Microsoft デジタル署名」を取得しておりませんので、上記のウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000 上で正常に動作することを確認して提供しています。

8

必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると、右下のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



9

以上でインストールは終了です。CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出しておいてください。
この後、第 4 章に進んでください。

3.6 Windows® NT 4.0 の場合

Windows NT 4.0 の場合は、以下の手順で付属ドライバのインストールを行ってください。

1

本製品を接続した状態で、Windows NT 4.0 のシステムを起動し、Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。

2

システム起動が完了したら、「コントロールパネル」「SCSIアダプタ」を起動してください。

「SCSI アダプタ」を
ダブルクリック



3

1. 「ドライバ」タブをク
リックして

2. 「追加」をクリック



4

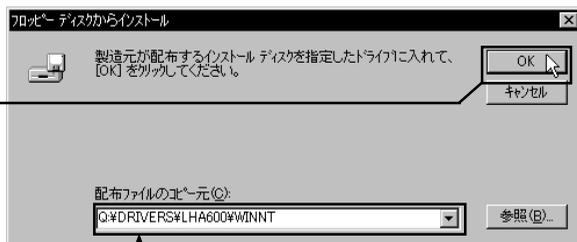
「ディスク使用」を
クリック



5

右下のウィンドウが表示されたら、本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、テキストボックスに「Q:¥DRIVERS¥LHA600¥WINNT」と入力してください。

入力できたら OK を
クリック



ここに入力

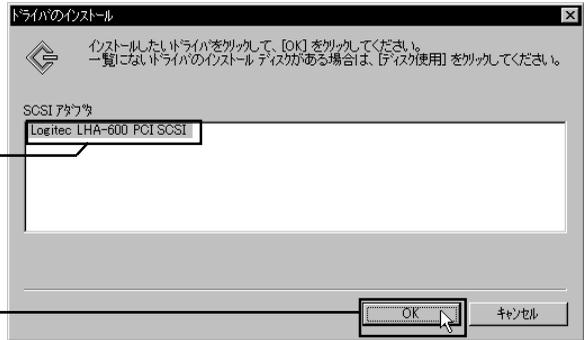
Point ポイント

ここで「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

6

1. 「Logitech LHA-600 ...」
と表示されていること
を確認して

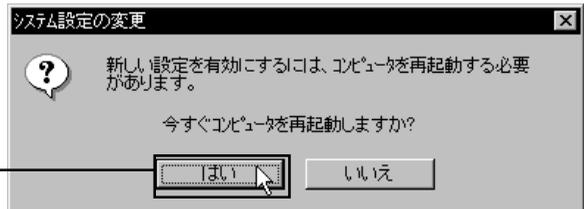
2. 「OK」をクリック



7

ドライバがシステムにインストールされます。作業が終了すると、システムを再起動するウィンドウが表示されます。
CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出して、「はい」ボタンをクリックし、システムを再起動してください。

「はい」をクリック



8

システムが再起動したら、インストールは終了です。第4章に進んでください。

3 . 7 Mac OS の場合

Macintosh 環境で本製品を使用する場合、SCSI インターフェイスボード用のドライバは特に必要ありません。ただし、接続する SCSI 機器によって、以下のようなソフトウェアをインストールする必要があります。

ハードディスクユニット、MO ユニット

ハードディスクユニット、MO ユニットを接続した場合は、Macintosh 用フォーマッタをインストールしなければなりません。(Macintosh 用フォーマッタには、MO ユニットを認識させるためのユーティリティが添付されています。そのため、フォーマッタがないと MO ユニットを使用することはできません。また、ハードディスクユニットの場合は、Macintosh 用フォーマッタでフォーマットを行う必要があります。)

本製品には、Macintosh 用フォーマッタ「B'sCrew Lite」が、付属の「LogitecWare」CD-ROM に収録されていますので、これをインストールしてください。

手順については「B'sCrew Lite」のオンラインマニュアルをご参照ください。

CD-R/RW ユニット

CD-R/RW ユニットを接続した場合は、CD-R/RW ユニット付属のライティングソフトウェアをインストールしてください。インストール手順については、ライティングソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

第4章

補足事項

4.1 SCSI 機器別の作業 (Windows 環境)

SCSIインターフェースボード用ドライバのインストールが終了すると、SCSIインターフェースボードは使用可能な状態になります。ただし、そこに接続されているSCSI機器については、さらにソフトウェアのインストールやフォーマットなどの作業を行わなければならない場合があります。

ここでは代表的なSCSI機器について、接続したときに行わなければならない作業を簡単に説明します。より詳しい説明については、それぞれのSCSI機器のマニュアルをご参照ください。

4.1.1 ハードディスクユニット

ハードディスクユニットを接続した場合は、新規接続したハードディスクのフォーマットを行わなければなりません。

Windows Me, 98/95 の場合

付属の「LogitechWare」CD-ROMから「ディスクユーティリティ」をインストールし、その中の「ディスクフォーマッタ」でフォーマットを行ってください。

WindowsXP, 2000の場合

管理者権限を持つユーザー(たとえば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)としてログオンして、Windows標準のユーティリティ「ディスクの管理」でフォーマットを行ってください。

「ディスクの管理」を表示するには、デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。「コンピュータの管理」のウィンドウが表示されたら、ツリーから「記憶域」の下の「ディスクの管理」を選択してください。

Windows NT 4.0 の場合

「 Administrators 」グループのユーザー名でログオンして、Windows NT 4.0 標準のユーティリティ「 ディスクアドミニストレータ 」で、新規接続したハードディスクのフォーマットを行ってください。

いずれの場合もフォーマットが完了すると、「 マイコンピュータ 」に新しいハードディスクのアイコンが追加されます。このアイコンをダブルクリックすると、新しいハードディスクにアクセスすることができます。

4 . 1 . 2 MO ユニット

MO ユニットを接続した場合は、SCSI インターフェースボードのドライバがインストールされると、「 マイコンピュータ 」にリムーバブルディスクのアイコンが追加されます。

MO ユニットにフォーマットされた MO メディアをセットして、リムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックすると、MO メディアにアクセスすることができます。MO メディアのフォーマットは付属の「 LogitecWare 」CD-ROM に保存されたユーティリティで行います。

Windows Me , 98/95 の場合

「 LogitecWare 」CD-ROM から「 ディスクユーティリティ 」をインストールし、その中の「 ディスクフォーマッタ 」で MO メディアのフォーマットを行ってください。

Windows XP , 2000 , NT 4.0 の場合

「 LogitecWare 」CD-ROM から「 ディスクユーティリティ 」をインストールし、その中の「 MO メディアフォーマッタ 」で MO メディアのフォーマットを行ってください。

4 . 1 . 3 CD-R/RW ユニット

CD-R/RW ユニートを接続した場合、SCSI インターフェースボード用ドライバがインストールされると、「マイコンピュータ」にCD-ROMのアイコンが登録されます。CD-ROMの読み出しを行いたい場合は、CD-R/RWユニットにCD-ROMをセットして、このアイコンをダブルクリックしてください。

CD-ROMの読み出しができることを確認したら、CD-R/RWユニット付属のライティングソフトウェアをインストールしてください。手順についてはライティングソフトウェアのマニュアルをご参照ください。

4 . 1 . 4 CD-ROM / DVD-ROM ユニット

CD-ROMユニットやDVD-ROMユニットを接続した場合は、特に追加の作業は必要ありません。SCSIインターフェースボード用ドライバがインストールされると、「マイコンピュータ」にCD-ROMのアイコンが追加されます。

CD-ROMユニット、DVD-ROMユニットにメディアをセットして、アイコンをダブルクリックすると、メディアにアクセスすることができます。

4 . 1 . 5 その他の SCSI 機器

その他の SCSI 機器にはDVD-RAMユニット、Zip / Jaz ドライブ、イメージスキャナなどがあります。これらの機器の場合も、それぞれ独自のドライバやユーティリティが必要となりますので、SCSI機器のマニュアルにしたがってインストール作業を行ってください。

4.2 トラブル・シューティング

時々エラーが発生する、ハングアップするなど、
本製品に接続した SCSI 機器の動作が安定しない。

- ・接続の状態に異常(接触不良など)がないかどうかを確認してください。
- ・接続の終端にターミネータが接続されているか(もしくは終端となる機器の内蔵ターミネータが有効に設定されているか)を確認してください。
- ・使用しているケーブルが長すぎないか確認してください。ケーブル長の合計が内部ケーブルも含めて3.0m以内でなければなりません。
- ・インピーダンスの低いケーブルはトラブルの原因となります。可能であれば、ケーブルをインピーダンスの高いものに交換して試してください。

Windows XP でドライバのインストール時、
「Windows ログテスト」から先に進めない。

Windows XP の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書き換えられていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「システム」 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

Windows 2000 でドライバのインストール時、
「Microsoft デジタル署名」から先に進めない。

- ・Windows 2000 の「ドライバ署名オプション」が初期状態から書き換えられていると、このような現象が発生します。この設定は「コントロールパネル」 「システム」 「ハードウェア」タブ 「ドライバの署名」ボタンで変更できますが、システム管理者によってこの設定が行われている場合は、システム管理者にご相談ください。

本製品を接続したら、システムが起動しなくなった。

- ・接続されている SCSI 機器間で、ID ナンバーが重複していないか確認してください。

Windows XP , Me , 98/95 , 2000 で

本製品に接続したハードディスクが認識されない。

- ・Windows Me/98/95/2000 ではフォーマットを行わないと、ハードディスクのアイコンがマイコンピュータに登録されません。ハードディスクのフォーマットを行ってください。

Windows XP ,Me,98/95 ,2000で本製品が正常に動作しない。

- ・接続の状態に異常(接触不良など)がないかどうかを確認してください。
- ・本製品はプラグ&プレイによって使用するシステムリソース(I/Oポート、割り込みなど)が自動設定されますが、プラグ&プレイに対応していない拡張ボードなどを併用する場合には、その拡張ボードが使用するシステムリソースを登録しておかないと、正常に設定されない場合があります。コントロールパネルの「システム」を開いて、デバイスマネージャから本製品のプロパティを表示し、「リソース」に重複がないかどうかを確認してください。
- ・まれにパソコン本体の特定の拡張スロットで正常に認識されない場合がありますので、本製品を接続する拡張スロットを変更して試してみてください。

Mac OS で本製品に接続した

MOユニットが認識されない。

- ・Mac OS で MO ユニットを使用する場合は、Macintosh 用フォーマッタをインストールしなければなりません。本製品には、Macintosh 用フォーマッタ「B'sCrew Lite」が標準添付されています。

4.2 トラブル・シューティング

その他：ソフトウェアの最新バージョン入手方法など

- ・弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーもありますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

4.3 オプション品について

外部 SCSI ケーブル

本製品に外付SCSI機器を接続する場合、ケーブルは原則的に外付SCSI機器に添付されたものを使用します。（LHA-600S/Aには外部SCSIケーブルが1本添付されています。）

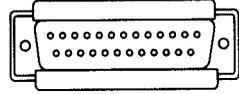
外付SCSI機器にケーブルが添付されていない場合や、本製品のSCSIコネクタと形状が合わない場合は、以下の外部SCSIケーブルを別途ご用意ください。

・O・・SCSI・P・[・u・	・キ・ウ	SCSI・R・I・N・^
CB-51WW-003	0.3m	D-subハーフピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51WW-008	0.8m	
CB-51HW-003	0.3m	アンフェノールハーフピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HW-008	0.8m	
CB-2550D-005	0.5m	D-sub25ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HB-003	0.3m	アンフェノールフルピッチ50ピン D-subハーフピッチ50ピン
CB-51HB-008	0.8m	

コネクタ形状



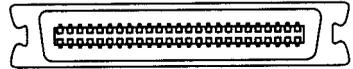
D-sub ハーフピッチ 50 ピン
(本製品のコネクタ形状)



D-sub 25 ピン



アンフェノール
ハーフピッチ 50 ピン



アンフェノールフルピッチ 50 ピン

内部 SCSI ケーブル

LHA-600S、LHA-600S/A に内蔵 SCSI 機器を接続する場合は、以下の内部 SCSI ケーブルが必要です。(LHA-600S/B には標準添付されています。)

SCSI-P-U	キウ	R-N
CB-F50	約90cm	ピンヘッダ50ピン × 4

ターミネータ

LHA-600S に外付 SCSI 機器を接続する場合は、以下のターミネータが必要です。(LHA-600S/A、LHA-600S/B には標準添付されています。また、ターミネータを内蔵する外付 SCSI 機器を終端に接続している場合は必要ありません。)

LSR-A50A	アクティブ	片切	SCSI-R-N
			D-subハーフピッチ50ピン

4 . 4 セットアップユーティリティ

本製品では、同期転送速度や起動時のデバイススキャンなど、高度な設定内容をセットアップユーティリティから設定することができます。



ご注意

- ・ セットアップユーティリティで設定する項目は、通常の場合、特に設定しなくても本製品を使用する上で支障はありません。SCSI インターフェースに詳しい方以外は、なるべく設定を変更しないでください。
 - ・ 本節の内容はDOS/Vパソコン、およびPC98-NXシリーズを対象としています。
-

セットアップユーティリティの起動

DOS/Vパソコン、PC98-NXシリーズに本製品を接続して、電源をONにすると、システム起動中に以下のメッセージが表示されます。

```
Logitech LHA-600 SCSI BIOS Ver x.xx, Rel x.xx  
Copyright (C) Logitech Corp. 1999
```

```
HOST SCSI ID : 7  
I/O Port : xxxhx  
Interrupt(IRQ): x
```

```
Press < F10 > ... to enter setup
```

セットアップユーティリティを起動したい場合は、このメッセージが表示されている間に、[F10]キー（ファンクションキーの10番目）を押してください。

セットアップユーティリティが起動すると、まず最初に次ページ上の画面が表示されます。

この画面は本製品と同じSCSIボードが複数併用されていた場合に設定の対象となるSCSIボードを選択する画面です。SCSIボードを1枚しか使用していない場合は、そのまま〔Enter〕キーを押してください。

```

Logitech LHA-600 SCSI Adapter Setup Utility
Logitech Corp.

—— HostAdapter Information ——

[ HostAdapter 0   Bus:xx Device:xx ]

[↑↓←→]:Cursor [Enter]:Adapter Configuration [F1]:Bus Scan [Esc]:Exit

```



参考

この画面で〔F1〕キーを押すと、現在カーソルのあるSCSIボードに接続されたSCSI機器の一覧表を表示することができます。複数のSCSIボードを接続している場合は、これを参照して処理の対象とするSCSIボードにカーソルをあわせてから、〔Enter〕キーを押してください。

続いて以下の画面が表示されます。これがセットアップユーティリティのメイン画面です。

```

Logitech LHA-600 SCSI Adapter Setup Utility
Logitech Corp.

Host SCSI ID           7
Sync Negotiation      AUTO
Device Scan           ALL
Bus Termination       AUTO [ON/OFF]
Bus Reset Delay Time  3 Seconds
Bootable CD Support   DISABLE

[↑↓←→]:Cursor [Enter]:Select [F8]:Load Defaults [Esc]:Exit

```

セットアップユーティリティの基本操作

セットアップユーティリティのメイン画面では、以下のキーを使用して設定を変更することができます。

- [] [] カーソルを上下に移動します。
- [] [] デバイス一覧表が表示されているとき、カーソルを左右に移動します。
- [Enter] カーソルがある設定項目の設定値を変更します。
- [F8] すべての設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- [Esc] セットアップユーティリティを終了します。

設定項目

セットアップユーティリティのメイン画面では、以下の項目を設定することができます。

Host SCSI ID

本製品(SCSIインターフェースボード)のIDナンバーを表示します。本製品のIDナンバーは「7」に固定されているため、表示のみで設定を変更することはできません。

Sync Negotiation

SCSI機器との同期転送速度を設定します。設定値には以下の2種類があり、出荷時は「AUTO」に設定されています。

AUTO 同期転送速度を自動設定します。この設定では、接続されているSCSI機器が3台以下の場合にはUltra SCSIの20MB/sで同期転送を行い、4台以上の場合にはFastSCSIの10MB/sで同期転送を行います。

MANUAL デバイス一覧表を表示して、SCSI 機器ごとに同期転送速度を設定します。この項目を選択すると以下のようにデバイス一覧表が表示されます。

```

-- Device Configuration --
SCSI ID 0  ULTRA-20M
SCSI ID 1  ULTRA-20M
SCSI ID 2  ULTRA-20M
SCSI ID 3  ULTRA-20M
SCSI ID 4  ULTRA-20M
SCSI ID 5  ULTRA-20M
SCSI ID 6  ULTRA-20M
SCSI ID 7  HOST

```

ここで設定したいIDナンバーの行にカーソルを合わせて、〔Enter〕キーを押すと、以下のように設定値を変更できます。

ULTRA-20M	UltraSCSI の 20MB/s で同期転送
FAST-10M	FastSCSI の 10MB/s で同期転送
ASYNC	同期転送を行わない

Device Scan

システム起動時に行われるデバイススキャン(接続されている SCSI 機器を検出すること)の対象となる SCSI 機器を設定します。設定値には以下の 2 種類があり、出荷時は「ALL」に設定されています。

ALL すべてのIDナンバーをスキャンして、SCSI 機器が接続されているかどうかをチェックします。安全ですが、システム起動に時間がかかります。

MANUAL デバイス一覧表を表示して、デバイススキャンの対象となる SCSI 機器を選択します。この項目を選択すると次ページのようにデバイス一覧表が表示されます。

- ON 接続の状態にかかわらず、強制的にオンボード・ターミネータを有効に設定します。
- OFF 接続の状態にかかわらず、強制的にオンボード・ターミネータを無効に設定します。

Bus Reset Delay Time

SCSIバスがリセットされてから、デバイススキャンを開始するまでの時間を0～9（秒）で設定します。出荷時は3（秒）に設定されています。

この設定を短くするとシステム起動が若干速くなりますが、電源ONから使用可能になるまでの時間が長いSCSI機器が認識されなくなる危険性があります。

Bootable CD Support

この項目はシステム起動可能なCD-ROM（Bootable CD）のサポートを有効（ENABLE）にするか、無効（DISABLE）にするかを設定するものです。

ただし、システム起動可能なSCSI CD-ROMのサポートには、マザーボード上のシステムBIOSがこれに対応している必要があるため、すべての環境で動作が可能なわけではありません。ご使用のパソコン本体（マザーボード）が、システム起動可能なSCSI CD-ROM（Bootable CD）をサポートしているかどうかは、パソコン本体メーカー（マザーボードメーカー）にお問い合わせください。

設定の終了と保存

すべての設定が終了したら、セットアップユーティリティのメイン画面から、〔Esc〕キーを押してください。以下のような画面が表示されます。

Save Configuration Data ? YES NO
--

ここで設定内容を保存して終了したい場合は、「YES」にカーソルがある状態で〔Enter〕キーを押してください。

設定内容を破棄して終了したい場合は、「NO」にカーソルがある状態で〔Enter〕キーを押してください。

ハードウェア仕様

機種名		LHA- 600S	
対応バス		PCI バス (Rev. 2.1 以降)	
インターフェース		Ultra SCSI	
最大データ転送速度		同期 20MB/s *1	
データ転送方式 (PCIバス)		バスマスタ	
内蔵ターミネータ		有り (オートターミネーション)	
コネクタ		外部	D- sub ハーフピッチ 50ピン
		内部	ピンヘッダタイプ 50 ピン
環境条件 *2	動作時		接続するパソコンに準じる
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧		DC+ 5V ± 10% *3	
外形寸法 縦 × 横		64 × 120 mm *4	
質量		70 g	

*1 理論値

*2 ただし結露なきこと

*3 PCI バスより供給

*4 スロットカバーを除く

Memo

Memo

Memo

Memo

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく場合があります）

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

TEL : 0265-74-1423 FAX : 0265-74-1403

受付時間：祝祭日を除く月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス()等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。

Logitec LHA-600S シリーズ・ユーザーズマニュアル

2005年 11月改訂

LHA-600S V04

製造元：ロジテック株式会社



<http://www.logitec.co.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています